

平成27年佐久市議会第3回定例会 一般質問通告書

質問 順位	質問者	質問 要 旨
1	小金沢昭秀	<p>1 農業の6次産業化について (1) 市内で6次産業化によって生産された商品について (2) 6次産業化商品開発における課題について (3) 農業の6次産業化の推進について市の考えは</p> <p>2 農業の生産性向上とブランド化の推進について (1) 佐久市ブランド化を育成するための現況、課題について (2) 新品目野菜等の消費拡大について (3) 佐久市の地方創生総合戦略(素案)における具体的な取り組みについて</p> <p>3 新規就農・就業者の促進について (1) 新規就農、農業後継者支援、障害者雇用支援について</p> <p>4 北陸新幹線開業にともなう影響について (1) 佐久平駅乗降客の利用状況について (2) 現状分析と今後の課題について</p>
2	井出節夫	<p>1 市長はいわゆる安保関連法案に対し、反対の態度を表明できないか</p> <p>2 人口減少をどうとらえているか (1) 新市発足10年を経過した人口動態について ア 浅間地区への人口集中と周辺地区の人口減少は (2) 新市の均衡ある発展をどう進めていくか (3) 白田地区の小学校廃校問題について ア 小学校は地域の核であり、廃校問題が地域住民の対立を生まないか。また、廃校によりその地域は人口減少に一層の拍車をかけないか (4) 白田まちづくり協議会の活動と今後の役割</p> <p>3 温水利用型健康運動施設整備について (1) 主要な設備が土石流危険渓流区域内や土砂災害警戒区域周辺にあるが影響はないか ア 受電設備、受水槽、ポンプ室、送湯管 イ 温浴施設排水設備 (2) 当該施設建設運営の事業グループの代表企業である佐久平尾山開発(株)第24期決算について ア 資本金が3億円から1億円に減額されたが、佐久市及び佐久市振興公社の出資分は確保されているか。また当該会社は地方自治法第221条第3項に定める法人か (3) 次の勘定科目について ア 公共的施設設備費償却1億1,330万円余はどのような設備をいうのか。また、繰延資産除却損7,169万円余はどのような資産の除却か イ 6,977万円余の雑収入があるが、どのようなものか (4) 当期純損失1億4,028万2,584円、当期末処理損失14億5,835万1,575円である。代表企業として資金調達などのリスク管理に責任を持てるのか</p>

質問 順位	質問者	質問要旨
3	内藤 祐子	<p>1 誰にもやさしいまちづくりについて</p> <p>(1) 福祉と観光を融合させたまちづくりの先進市、高山市を参考にできないか</p> <p>ア 平成6年から「誰もが安心して暮らすことができるバリアフリーのまちづくり」を推進してきた高山市の実践を、佐久市でも参考にできないか</p> <p>イ 佐久市も「誰にもやさしいまちづくり」に向けたプロジェクトチームを立ち上げ、踏み出せないか</p> <hr/> <p>(2) パーキングパーミット制度について</p> <p>ア 市独自に導入する考えはないか</p> <p>イ 県への働きかけについて</p> <p>2 佐久市まち・ひと・しごと創生総合戦略（素案）における子育て支援策について</p> <p>(1) 佐久市人口ビジョン（素案）の「理想の子ども数を持たない理由（経済的な不安82.6%、子育てと仕事の両立58.2%）」に沿った画期的な支援策は</p> <p>ア 議会提案はどう検討されたか</p> <p>イ これまでの提案はどう検討されたか</p> <hr/> <p>3 重要な役割を担っている臨時職員の労働条件改善について</p> <p>(1) 現状について</p> <p>ア 臨時職員の総数及び学校用務員、給食調理員（学校、保育園）、保育士（担任を持っている、持っていない）、学校図書館司書補、特別支援教育支援員について的人数と各正規職員との比率について</p> <p>イ 臨時的任用職員、短時間勤務職員、日々任用される職員、嘱託職員、その違いと人数について</p> <p>ウ 6年で雇止めの根拠について</p> <p>エ 次の再任用までの間に「空白期間」を設けている状況と方法について</p> <p>オ 専門性を求められる職種として、特別支援教育支援員のスキルアップは</p> <p>カ 給与、手当（期末手当、退職金など）について</p> <hr/> <p>(2) 昨年7月に送られた総務省通達について</p>
4	竹花 美幸	<p>1 望月地域の人口減少対策について</p> <p>(1) 現過疎地域自立促進計画の検証と課題について</p> <hr/> <p>(2) 新たな過疎地域自立促進計画の策定について</p> <hr/> <p>(3) 望月地域の活性化について</p> <hr/> <p>2 中学校吹奏楽部で使用する吹奏楽編成楽器の充実について</p> <p>(1) 中学校吹奏楽部の現状について</p> <hr/> <p>(2) 吹奏楽編成楽器一式の整備状況について</p> <hr/> <p>(3) 吹奏楽編成楽器に対する支援について</p> <hr/> <p>(4) 吹奏楽編成楽器の今後の整備方針について</p> <hr/> <p>3 公共交通の利便性向上について</p> <p>(1) 地域の実情に配慮した生活路線バスの拡充について</p>

質問 順位	質 問 者	質 問 要 旨
5	市 川 稔 宣	<p>1 佐久市野沢会館の運営状況と施設整備について</p> <p>(1) 現在の施設の利用状況について</p> <p>(2) これまでの改修状況等について</p> <p>ア これまでの改修状況について</p> <p>イ 社会教育部移転後の事務室利用について</p> <p>(3) 今後の施設整備の方針について</p> <p>2 野沢地区のびんころ地蔵尊の観光面での位置づけとその周辺整備について</p> <p>(1) 「やなば」邸の活用と周辺整備について</p> <p>(2) びんころ地蔵尊を中心とした切手シートの発売計画について</p> <p>3 夜光反射タスキの配布について</p>
6	篠 原 勤	<p>1 佐久南交流拠点施設整備事業について</p> <p>(1) 拠点施設の造成計画概要について</p> <p>(2) 拠点施設の造成計画の考え方について</p> <p>ア 拠点施設周辺における過去の洪水被害状況並びに治水対策について</p> <p>イ 中部横断自動車道整備により周辺区域に及ぼす影響について</p> <p>ウ 造成計画における施設内排水と周辺水路の改善計画について</p> <p>(3) 拠点施設内の用排水路管理について</p> <p>ア 管理方針について</p> <p>イ 地元関係者等との協力・連携体制について</p> <p>(4) 拠点施設の防災機能について</p> <p>(5) 拠点施設の管理運営について</p> <p>ア 公共部門の管理運営方針並びに管理経費について</p> <p>イ 収益部門（販売・加工・飲食）の事業計画並びに収支計画について</p> <p>ウ 出荷者組合の組織化について</p> <p>(6) 事業の進捗状況と今後のスケジュール・事業展開について</p> <p>(7) 関係者による現地確認と認識の共有について</p>
7	大 井 岳 夫	<p>1 佐久市の組織機構について</p> <p>(1) 今後の予定について</p> <p>(2) 専門職員の育成・登用について</p> <p>(3) 各支所のあり方について</p> <p>(4) 新たな問題への取り組みについて</p> <p>2 佐久市の教育現場における政治的中立性の確保について</p> <p>(1) 佐久市内の学校教育の現場において、政治的思想を刷り込むような指導がなされていないか</p> <p>(2) 佐久市教育委員会として、政治的中立性を確保する取り組みをどのように行っているか</p> <p>(3) 中立性が疑われる活動に対する見解と、対応について</p> <p>(4) 主権者教育にどのように取り組むか</p> <p>3 白山団地の再構築について</p> <p>(1) 市営住宅白山団地リフォームに対する4月以降の実施状況と、今後の整備及び年次計画について</p> <p>(2) 県営白山団地の整備計画について</p>

質問 順位	質 問 者	質 問 要 旨
8	江 本 信 彦	<p>1 地域包括ケア病棟・病床について (1) 地域包括ケア病棟・病床の役割について (2) 地域包括ケア病棟・病床の佐久市における現状について (3) 市の取り組みの現状と方向性について</p> <p>2 佐久市のまちづくりとプレイスメイキングについて (1) プレイスメイキングの認識と推進について (2) オガールプロジェクトのまちづくりについて、どのように考えるか (3) 立地適正化計画の概要について</p> <p>3 市職員の人材育成について（東京都荒川区の取り組みから） (1) 非常勤職員制度について (2) 女性活躍推進法について (3) 人事戦略構想について ア 職員研修について イ 人事考課について ウ 荒川区職員ビジネスカレッジについて</p>
9	高 橋 良 衛	<p>1 これからの企業誘致について (1) これまでの市が行ってきた企業誘致から得られた企業が望んでいる自治体（受け入れ側）の条件について (2) これからの企業誘致について ア 佐久市の持っている特性について イ 企業誘致を考えているとすればどのような場所が適地と考えるか</p> <p>2 CCRC事業について (1) 臼田地区CCRCの選定の経緯について (2) 臼田地区CCRCの事業化について ア 事業化に向けた取り組みについて イ 事業展開による将来像について</p> <p>3 2020東京オリンピック・パラリンピック事前合宿招致について (1) 現在の取り組み状況について ア 事前合宿受け入れ決定からこれまでの取り組みについて イ 現在の状況について (2) 今後の取り組みについて ア どのような国、地域の方にお越しいただきたいのか イ どのように相手方にアプローチを掛けるのか</p>
10	小 林 松 子	<p>1 米軍機の危険な飛行・ごう音問題について (1) 6月議会以降の市の対応について (2) 佐久市の上空が横田エリアになっていることについて ア 今後、横田基地にCV-22オスプレイが配備される計画があるので、佐久市の上空をオスプレイが飛行する可能性が出てくるが、市はどのような対応を考えているか イ 横田エリアの返還を求める考えはないか</p>

質問 順位	質 問 者	質 問 要 旨
		<p>2 過疎地域自立促進計画について</p> <p>(1) 現在の過疎地域自立促進計画の事業の検証について</p> <p>ア 人口減少や子どもの減少、高齢化等により一層過疎化が進んだと思うがどう考えるか</p> <p>(2) 新たな過疎地域自立促進計画における若者・子どもを増やすための施策について</p> <p>ア 新たな過疎地域自立促進計画の中に、望月高校の存続のためスクールバスを出すことや、小学校跡地などに子育て支援住宅の設置、子育て世帯に対する住宅支援を取り込むことについて</p> <p>3 大規模ソーラー発電施設の建設問題について</p> <p>(1) 大規模ソーラー発電施設の建設に関する規制について</p>
11	井 出 浩 司	<p>1 中部横断道（仮称）臼田ICへのアクセス道、県道上小田切臼田停車場線バイパスの計画について</p> <p>(1) 県道上小田切臼田停車場線バイパスについて</p> <p>ア 県道上小田切臼田停車場線バイパスの開通予定と現在の事業の進捗状況</p> <p>イ 県道上小田切臼田停車場線バイパスの工事はどこから着手するか</p> <p>(2) 県道上小田切臼田停車場線バイパスに接続するコスモホールアクセス道路について</p> <p>ア コスモホールアクセス道路の開通予定と現在の事業の進捗状況</p> <p>イ コスモホールアクセス道路は順調に進んでいるか</p> <p>2 市内商業の現状と商店街の活性化について</p> <p>(1) 市内の商店街について</p> <p>ア 市内に商店街はいくつあるのか</p> <p>イ その実態は把握しているか</p> <p>ウ 既存商店街は合併後どの様に変化しているのか</p> <p>エ 今後の課題は</p> <p>(2) 商店街の活性化と支援策について</p> <p>ア 現在の商店街への支援策にはどのようなものがあるか</p> <p>イ その支援策は有効に活用されているか</p> <p>ウ 今後検討される支援策は</p> <p>3 佐久市版CCRC構想について</p> <p>(1) 日本版CCRCはその正式名称を「生涯活躍のまち」、愛称「プラチナ・コミュニティ」と公表されたが、市長の見解は</p> <p>(2) 佐久市CCRC構想（素案）について</p> <p>ア 佐久市が目指す構想のビジョン及びコンセプトはどのようなものか</p> <p>イ 佐久市CCRC構想（素案）では、都市型・農村型とされているが、どのような違いがあるのか</p> <p>ウ 今回モデル地域を2か所に限定したのはなぜか</p> <p>エ それぞれの地区で近い将来期待できる経済効果及びメリットは</p>

質問 順位	質 問 者	質 問 要 旨
		(3) 佐久市CCRC検討会について ア 有識者会議の委員はどのような方か イ 有識者会議の委員からの意見はどのようなもので、どの様に反映されたか (4) 佐久市CCRC構想はどこの部署が担当し、成功させる為には一番ポイントとなることは何か
12	関 本 功	1 道路行政について (1) 国道・県道・市道の維持管理について (2) 災害時の対応について 2 市内の環境整備について (1) ごみのポイ捨てについて ア 市内のごみのポイ捨て状況について イ 地区及びボランティア活動について (2) ポイ捨て禁止条例について ア 禁止条例制定後の状況について イ 啓発及び看板について 3 佐久南インターチェンジ周辺整備事業について (1) 施設計画について ア 整備方針について イ 施設内容、施設規模、施設配置について (2) 管理運営計画について ア 管理運営の方式について イ 関係主体に期待される役割について 4 協働のまちづくりについて (1) 市民の市政参画の拡充について ア 市民が意見を出しやすい体制づくりについて イ 各審議会への市民公募委員枠の拡大について (2) 協働のまちづくりの推進について ア 市民活動ネットワークの構築について イ 市民活動団体が行うまちづくり活動に対する支援について
13	吉 川 友 子	1 中学生・高校生の通学手段確保について (1) 市内中学生の通学状況について ア 市内中学校の遠距離通学への対応について イ 中学校の遠距離通学生徒数 ウ 遠距離通学の距離と通学手段 (2) 遠距離通学生徒の保護者からの要望について ア 保護者から市教育委員会への要望内容について イ 要望への対応について (3) 市内高校生への通学補助について 2 マイナンバー制度について (1) 利用の用途について (2) 情報漏えいなどのセキュリティ対策について (3) 今後のスケジュールについて 3 過疎地域自立促進計画と過疎債について (1) 現過疎計画の効果について (2) 新計画への住民要望について (3) 今後のスケジュールについて

質問 順位	質 問 者	質 問 要 旨
14	内 藤 勝 利	<p>1 若者の投票率向上のために</p> <p>(1) 佐久市の新有権者数の見込みは</p> <p>(2) 不在者投票について</p> <p>(3) 新たな期日前投票所の設置について</p> <p>ア 大学等への設置について</p> <p>イ 佐久平駅構内への設置について</p> <p>(4) 市民への周知・啓発は</p> <p>2 特産品を活かした佐久市の知名度アップについて</p> <p>(1) 佐久の特産品とその活用の現状は</p> <p>(2) 特産品で佐久市の知名度を更に上げることに ついて</p> <p>3 若者の発想で地域を元気に</p> <p>(1) 起業・創業の支援の取り組みの現状は</p> <p>(2) ビジネスプランコンテストの開催で地域に活 力を</p>
15	三 石 義 文	<p>1 観光施策について</p> <p>(1) 北陸新幹線開業後の状況について</p> <p>(2) 今後の誘客はどのようにしていくのか</p> <p>(3) インバウンドはどのように考えているのか</p> <p>2 学校教育について</p> <p>(1) いじめ問題について</p> <p>(2) 学校と家庭について</p> <p>(3) 佐久大学及び佐久大学信州短期大学部につい て</p> <p>3 雇用促進住宅について</p> <p>(1) 市内4住宅の現状</p> <p>(2) 今後の方針について</p>
16	飯 島 雅 則	<p>1 いじめについて</p> <p>(1) 市内小中学校の過去3年間のいじめ件数、不 登校児童・生徒数、その内いじめが原因の不登 校児童・生徒数について</p> <p>(2) 親や子どもたちが声をあげない理由について</p> <p>(3) 「いじめられる子にも問題がある」と思っ ているか</p> <p>(4) SOSのサインに気づくことができるか</p> <p>(5) 「いじめは、暴行、脅迫、精神的リンチであ り、傷害罪や殺人罪になる」ということをしっ かり教えることができるか</p> <p>(6) 暴行等がわかった際は躊躇せず、学校に警察 を介入させることができるか</p> <p>(7) 子どもと親に対し『逃げなさい！逃げるこ とは恥じゃないよ』ということを教えられるか</p>
17	吉 岡 徹	<p>1 「買い物困難者支援事業」の進捗状況について</p> <p>(1) 買い物困難者支援サービスを提供している事 業者の把握と住民への周知について</p> <p>ア 事業者及び各事業者のサービス内容の把握 について</p> <p>イ 印刷物での周知について</p> <p>(2) 市主導の支援事業拡充について</p> <p>ア 住民ニーズの調査、把握について</p> <p>イ 商工関係団体、事業者、住民等との協議に ついて</p>

質問 順位	質 問 者	質 問 要 旨
		<p>(3) 支援事業に対する国等の補助制度とその活用について</p> <p>2 「生物多様性の保全」への取り組みの進捗状況について</p> <p>(1) 「多様性保全地域戦略」の策定について ア 策定方針について イ 策定スケジュールについて</p> <p>(2) 市内の自然愛好団体、保護活動団体との連携について ア 団体数と各団体の活動状況について イ 連携による戦略策定と保全事業の展開について</p> <p>(3) 「旧美笹自然観察園」の活用について</p> <p>3 特定健診受診率向上への取り組みについて</p> <p>(1) 平成26年度の受診率低下の原因分析について ア 確定受診率について イ 前2年度実績をも下回った原因について</p> <p>(2) 平成27年度の受診状況と受診率の見込みについて ア 受診対象人数 イ 直近の既受診者数 ウ 現状把握されているこれからの受診予約者数 エ 上記数値と今後の勸奨事業の効果を勘案しての今年度受診率見込みについて</p> <p>(3) 平成28年度特定健診事業の目標について ア 受診率目標55%について イ 平成26年度実績及び今年度予測からみて達成可能か</p> <p>(4) 平成28年度の目標達成のための具体的な取り組みについて ア 受診券配布時のインパクトある勸奨文書同封 イ 新規加入者及び40, 50代対象者への積極的勸奨 ウ 連続未受診者の実態把握と受診勸奨 エ 集団健診の土・日開催の少なくとも倍増 オ 集団健診日の地域広報車の巡回等による健診呼びかけ カ 未受診者へ向けての年明け追加健診の実施</p>